

代表質問

市長が目指すまちづくりの実現に向けて



動画視聴



自民・未来クラブ
中原 誠悟 議員

就任 2 年を迎えての 市長の思い

問 市長就任 2 年の総括と現在の所信を聞きたい。

答 令和 2 年 7 月豪雨で大きな被害を受けたみなと校区の排水路拡張や三川ポンプ場の機能増強等に取り組みながら、地域支え合いセンターによる被災者への支援も継続中。

コロナ対策は、希望する市民へのワクチン 2 回接種をほぼ終え、中小企業や飲食店への支援など、地域経済を下支えする取組も進めてきた。

今後も復旧・復興とコロナ対策とともに、まちづくりに全力で取り組んでいきたい。

若者が夢をもって働く まちづくり

問 地域企業の IT 導入支援等に取り組む中、イノベーション創出事業にかける思いは。

答 本市のポテンシャルを十分生かして人や企業を呼び込み、分野の垣根を越えた活発な交流やチャレンジによるイノベーションを創出することで、若者が夢をもって働くまちづくりの実現に取り組む。

再発言 市長が先頭に立って若者にも魅力的なまちづくりの推進を。

子育て世代に魅力的なまちづくり

問 こども庁創設の検討や

こども基本法（仮称）の制定への提言など、国の動きがある中で、本市も子ども・子育てに関する条例を制定する必要があるのでは。

答 国の動向を注視し、子供に関する基本的理念や施策の方向性を定める条例の制定に向けて検討を進めていきたい。

再発言 子育て世代に魅力的なまちづくりを加速化するためにも、条例の制定が必要。

ごみの減量化・資源化の推進

問 有料指定ごみ袋のサイズ・単価見直しの考え方は。

答 プラスチック類等の分別で家庭ごみの 30% 減容化が可能と考え、現行のものから 30% 小さいサイズ設定とした。ただし、40ℓ の袋のみ剪定物等の排出を考慮してそのままのサイズとした。

また、一つ小さいサイズの袋に切り替えると費用負担が少なくなることや、ごみ処理経費は引き続き一定の負担をお願いする必要があることなどから、手数料は 1 リットル当たり 1.2 円の設定とした。

再発言 ごみ袋は市民生活に

密接に関わるため、見直す理由やサイズ・手数料等の丁寧かつ確実な周知を要望する。

ICT 教育の充実

問 コロナ禍における児童生徒の学習機会の確保に向け、家庭でのオンライン学習をどのように進めていくのか。

答 オンライン学習の試行により、児童生徒の健康状態等の把握やクラスで同じ画面を共有し学習を行う効果的側面と、集中力が持続しにくいという課題が分かったため、授業展開の工夫が必要と考える。

再発言 家庭でのオンライン学習には通信費が必要。過度な負担とならぬよう要望する。



市民部窓口業務改革計画

問 おくやみコーナーとは。

答 死亡に伴う様々な手続をワンストップで御案内する窓口。全てを処理することは困難だが、御遺族の負担の軽減に取り組んでいきたい。

再発言 全ての手続きをワンストップで済ませるには様々な課題があると思うが、検討を継続し、市民に寄り添った優しい窓口の推進を要望する。